

統一地方選へ氣勢

大村知事「支援に感謝」

党会
明演
公講
で橋
豊時



「公明党時局講演会」(同党豊橋支部主催)が20日夜、アイブラザ豊橋で、党本部の草川昭三副代表、同党愛知県議団団長の渡会克明県議を講師に迎えて開かれ、統一地方選に向けて氣勢を上げた。会場は1500人余で満席。大村秀章新知

事も駆けつけ、先の県知事での同党支援に感謝。「大村県政の与党は今、公明党だけ。渡会団長と手を組んで、命や地域、暮らしを守る施策をしっかりとりたい」とあいさつした。渡会氏は、牛川トンネルを含む東三河環状線の早期整備の必要性などを訴え、県議4期目への決意を述べた。草川氏は、民主党の現政権が外交政策の継続性に欠け、日本の国際的な信頼を無くしていることや、景気対策

への考えが甘いことを強く批判。また、同党の主張で昨年末、補正予算で子宮頸がんワクチンの全額公費負担が決まるなど、「地方議会から上がってきたことを国政で実現するのが公明党。県、市議選は重要。統一地方選に全力を」とエールを送った。このほか、先の田原市議選で初の女性議員となった同党の辻史子市議が感謝と決意を述べ、最後は、「次は県議選」と、渡会県議を囲み、草川副代表や各市議らが壇上に。鈴木義則15区総支部長の音頭で、会場全員で「エイエイオー」を三唱し、結束を固めた。(杉浦文夫)